

# スマート農業の普及実装の加速化について

【担当省庁】農林水産省

過疎高齢化による担い手不足等の影響を特に受ける中山間地域なども含めて農業が継続して営めるよう、作業の省力化等に効果のあるスマート技術の普及実装を図るため、以下の措置を講じていただきたい。

- 「スマート農業加速化実証プロジェクト」について、京都の中山間地域を支える宇治茶や京野菜の生産現場に対応したスマート農業技術の実証事業の採択
- 「スマート農業教育推進事業」について、府立農業大学校においてスマート技術を学ぶために必要な自動走行トラクター等の導入への支援及び農業に限らず林業及び水産業の担い手育成機関にも活用できるよう支援対象の拡大
- ドローン散布に適した農薬について、既存農薬の適用拡大等を押し進めていただきたい。特に、山間部の傾斜地等で行う宇治茶生産で頻繁に使用される農薬の適用拡大の推進

## 【現状・課題等】

### ■農林水産業の担い手育成機関のスマート技術に係る教育環境整備の必要性

- ・府立農業大学校においては、今年度よりスマート農業を講義に取り入れているが、実習面では、高度な施設や機材がないためその内容が限られているのが現状。学生がスマート技術に触れて学ぶ環境を整備するために、同大学校への支援が必要
- ・林業及び水産業においても、スマート技術の教育は必要であるため、それら担い手育成機関への支援も行えるよう制度拡充が必要

### ■宇治茶生産現場のドローンによる農薬散布への期待

- ・京都府の宇治茶生産現場の多くは、写真(右)のとおり、山間部の傾斜地を開墾した「山なり茶園」であり、ドローン活用の効果が発揮できる普及すべき現場
- ・ホソガ防除の殺虫剤や炭疽病の殺菌剤などの農薬が、宇治茶生産現場から期待される。



京都府 の担当課	農林水産部 流通・ブランド戦略課 (075-414-4968) 経営支援・担い手育成課 (075-414-4908) 農産課 (075-414-4944)
-------------	---

## 【国の事業等】

### ■概算要求 [農林水産省]

スマート農業総合対策事業 50 億円（令和元年度予算 5.1 億円）

- ▶ スマート農業加速化実証プロジェクト 35.1 億円（<sup>③〇</sup>補正・R元 61.5 億円）  
現在の技術レベルで最先端となるロボット・AI・IoT等の技術を生産現場に導入し、スマート農業を実証する取組に対する支援制度
- ▶ スマート農業普及のための環境整備のうち、スマート農業教育推進事業 1 億円（新規）
  - ・農業大学校等におけるスマート農業の担い手育成のため、授業で活用できる教育コンテンツや高度な実習の機会を提供
  - ・「スマート農業普及のための環境整備」の事業のうち、農林水産データ管理・活用基盤強化事業やロボット技術安全性確保策検討事業は、林業、水産業も対象になっているが、スマート農業教育推進事業は、林業や水産業は対象外

## 【京都府の取組】

### ■スマート農業技術開発・実証

- ・水稲については、今年度採択された「スマート農業加速化実証プロジェクト」により、耕耘、田植え、水管理、生育診断、防除、刈取り等、スマート技術の一貫体系のモデル農場を設置し、最新技術を実証・展示（R元年度予算 78.5 百万円）
- ・宇治茶については、国「次世代につなぐ営農体系の確立支援」及び府事業を活用し、摘採適期判定デバイスの実証や、経営管理システムの開発、AIによる生育・作業適期予測システムの開発など、高品質茶生産体系を構築中
- ・京野菜については、国「革新的技術開発・緊急展開事業」及び府事業を活用し、万願寺トウガラシのハウス温度管理技術のモニタリング・見える化から自動制御に向けた技術体系を実証中

### ■スマート農業技術の普及体制

- ・今年度、府単費事業「スマート農林水産業実装チャレンジ事業」を創設し、スマート技術（機械等）の導入に取り組む生産者を支援
- ・今年度、京都府農業会議に、スマート農林水産技術についてのワンストップ相談窓口を設置。また、農業改良普及センターに、スマート農業専門担当を配置
- ・昨年度から、スマート技術の企業や専門家等による技術展示会・相談会を開催